

with/afterコロナの観光立国 ～富裕層観光を軸に～

観光戦略実行推進会議

2020年7月27日

A.T. カーニー 日本法人会長
ナイトタイムエコノミー推進協議会 理事

梅澤 高明

withコロナの訪日観光

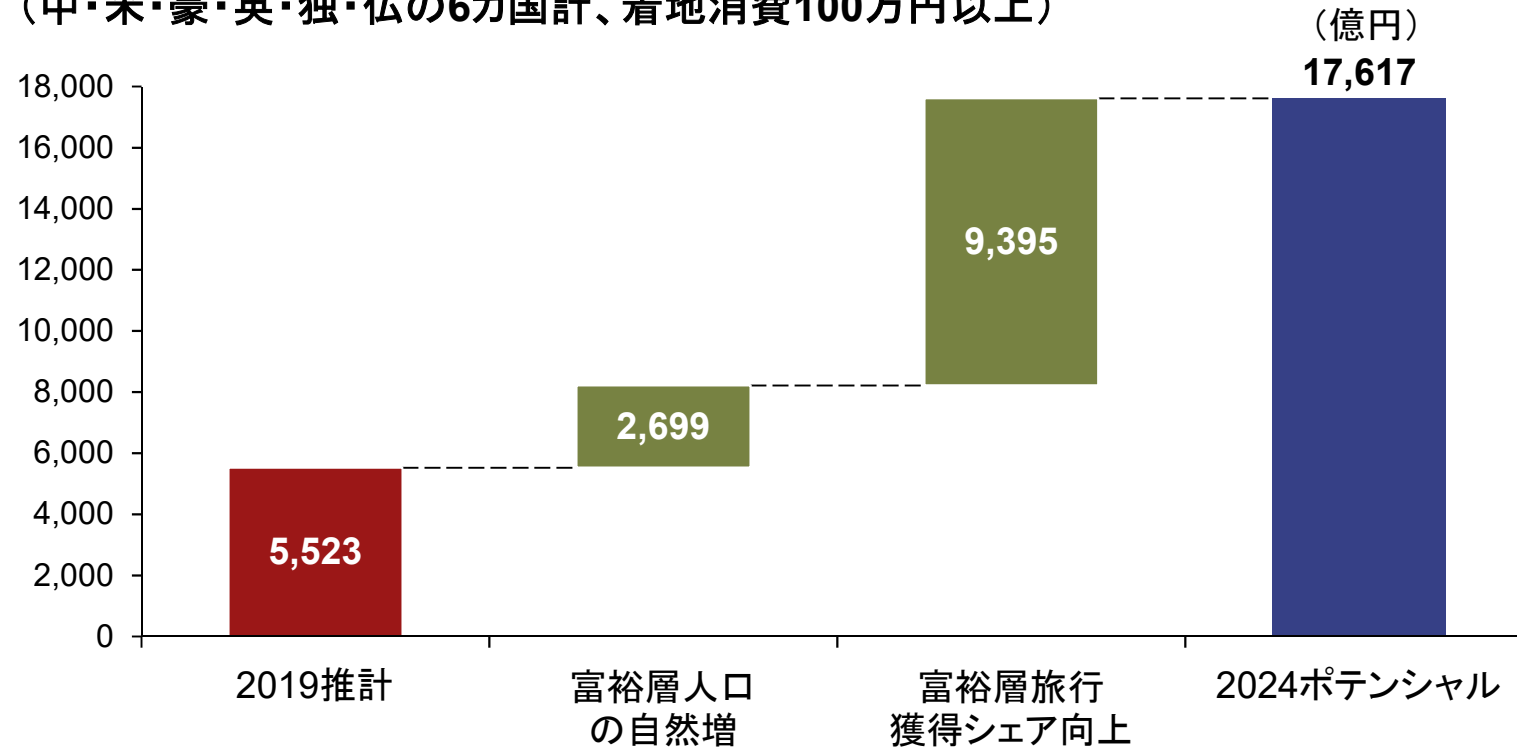
- 国際観光の戻りが早いのはビジネス・富裕層
 - 非富裕層の収入減、航空会社のソーシャルディスタンス対応による運賃増に伴い、非富裕層の観光ニーズの回復は遅い
 - 富裕層は宿泊・移動動線の安全をカネで買える
 - ビジネストラベルは必要性が明確。一方、コロナ感染リスクの警戒心により、私的な観光に対しては強い動機付けが必要
- コロナ被害が比較的少ない東アジア・東南アジア・オセアニアの回復が早い
 - 米国は感染再拡大。欧州は一旦収束に向かうが、第二波到来時は再び大規模な被害となる可能性
- 「衛生・医療」が訪問先の要件に。その点で日本は有利

 当面は東アジア・東南アジア・オセアニアを中心とする
富裕層観光に舵を切るのが妥当では？

富裕層観光のポテンシャル：5年で1兆円超の伸び代

富裕旅行の増加ポテンシャル

(中・米・豪・英・独・仏の6カ国計、着地消費100万円以上)



〔試算の
主な前提〕

観光庁推計

クレディスイス予測
(2019→24増加)

中国 10%、米・豪
5%、英独仏 1.3%

➡ 2030年を見据えると3兆円規模の潜在市場

富裕層観光開発の意義

■ 観光収入の確保

- 「密」を作れないwithコロナ期の観光には、顧客単価の大幅向上が重要

■ 地方創生への貢献

- 地域のブランド価値向上
- 文化産業・伝統産業（食・農漁業、工芸、繊維、アートなど）の収益性向上と継承
- 町並み・景観への投資

世界の富裕層に既に注目されるエリア

東京

- コンデ・ナスト・トラベラー「The Best Cities in the World」読者投票で首位(2016-19年)
- ミシュランガイドの三ツ星レストラン数、星の総数で連続首位

ニセコ

- スノーマガジン「世界のスキーリゾート・トップ10」にランクイン(2018年)
- 高級ホテル・別荘の開発が進む

瀬戸内

- ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー「2019年行くべきデスティネーション」で首位
- 直島: 外国人に最も人気の高いアートサイト
- しまなみ海道: CNN「世界で最も素晴らしい7大サイクリングコース」(2016年)

熊野古道

- ユネスコ「世界文化遺産」に登録(2004年)。巡礼路の登録として世界で2件目
- インバウンドの訪問客は欧米豪が殆どで、富裕層比率も高い



Huh0251 “ガンツウ006.jpg” via Wikipedia
<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:%E3%82%AC%E3%83%B3%E3%83%84%E3%82%A6006.jpg>

Guntu(ガンツウ)

- 瀬戸内海を巡る豪華客船。尾道から宮島、直島、小豆島などを周遊
- 客室19室。室料は一泊40万円～100万円（オールインクルーシブ）
- 米Time誌「世界で最も素晴らしい場所2019」100選に選ばれる

teamLab Borderless (台場)

- 常設の没入型デジタルアート・ミュージアム(面積1万㎡)
- 2018年の開業からの1年間で230万人の来場。海外のセレブも多数来館
- 入場者の約半数が外国人。うち半数がBorderlessを目的とする訪都



上) Jonas Forth "Teamlab Borderless Tokyo" via Flickr
<https://www.flickr.com/photos/forth/47358873802>

左) dconvertini "teamLab Borderless, Odaiba, Tokyo, Japan" via Flickr
<https://www.flickr.com/photos/con4tini/49070116233>

文化観光のテーマ例と課題

ガストロノミー ツーリズム

- 日本全国の食(含む酒)は富裕層観光の中心商材
- 各地の名店やユニークベニューと高級宿泊施設を組合せて商品化することで、稼げる観光コンテンツ開発が可能
- 上質なアグリツーリズムとの組合せも可能性高い

アート ツーリズム

- 富裕層の多くがアートコレクター。世界の主要アートイベントを回る常連客も多い
- 一部の現代アート拠点(直島、金沢21世紀美術館など)・地方芸術祭(瀬戸内国際芸術祭、大地の芸術祭)は知名度高く、海外富裕層の集客力あり
- 遠隔地にあるこれらの拠点・芸術祭では、高級宿泊施設の潜在ニーズは高いが多くの未充足

建築・庭園 ツーリズム

- 文化愛好家がアートと並んで高い関心を持つテーマ。日本の建築はモダニズム建築、メタボリズム、木造建築などで高い評価
- 高い評価の建築物や庭園は全国に散在。上質な宿泊・移動を含めた顧客動線の設計が必要

提案：富裕層観光の取組み方向性

①②③を連携させて推進

- ①高級宿泊施設の開発
 - － ホテル、ホテルコンド、旅館、高級民泊
 - － グローバルプレイヤーの誘致を含む
- ②ハイポテンシャルの観光資源の特定、面的開発の方向づけ
 - － 主軸は自然と文化
- ③他の政府関連施策との連携
 - － 文化庁：博物館等を中核とした文化クラスター推進事業
 - － 環境省：国立公園満喫プロジェクト
 - － 農林水産省：SAVOR JAPAN
 - － 経済産業省：クールジャパン機構による投資、他